

平成17年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 1 平成17年12月12日報告分から18年4月30日までに報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤60件、血漿分画製剤0件である。輸血用血液製剤の内訳は、
 - (1) B型肝炎報告事例： 29
 - (2) C型肝炎報告事例： 14
 - (3) HIV感染報告例： 1
 - (4) その他の感染症報告例： 16
- 2 B型肝炎報告事例
 - (1) 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）等が陽転した事例は25例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は3例）。
 - (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は2例。
 - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例（劇症化例含む。）である。
- 3 C型肝炎報告事例
 - (1) 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）等が陽転した事例は13例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は0例）。
 - (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例。
- 4 HIV報告事例
 - (1) 輸血前後に抗体検査等が陽転した事例は0例。
 - (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- 5 その他感染症報告事例
 - (1) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例である。輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
 - (2) E型肝炎感染疑い事例は2例（1例は既報告、他の1例は陽転未確認）、A型肝炎感染疑い事例は1例である。
- 6 血漿分画製剤での報告事例
前回報告のバルボ感染疑い症例はバルボB19による感染を否定する主治医のコメントを得ている。

輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
供血者陽性事例																		
3-05263	2005/12/28	2006/1/11	人赤血球濃厚液 新鮮凍結血漿	女	50	直腸癌	B型肝炎	05/06 05/06	HBsAg(-) (05/06)	HBsAg(+) HBeAg(+) (05/12)	陽性(輸血後)	保管検体11 本中10本は NAT(-)。 1本NAT(+)		片割れ製剤受血者の情報:陽性となった当該輸血用血液と同一採血番号の製剤として、1本の新鮮凍結血漿、1本の赤血球MAPがあり、全て医療機関へ供給されており医療機関での追跡調査の結果、受血者は2名とも原疾患で死亡していた。	12単位 10単位	4/11(3人はHBV関連検査陰性。1人はHBe抗体陽性。HBs抗体陽性)	6本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿、5本の赤血球MAPを製造。原料血漿は全て確保済み。	新鮮凍結血漿、赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
3-06007	2006/1/25	2006/2/7	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	大腿骨骨折、糖尿病、高血圧	B型肝炎	05/07	HBsAg(-) (05/03) (05/07)	HBsAg(+) HBeAb(-) HBeAg(+) HBeAb(-) HBeAb(+) IgM-HBeAb(-) HBV-DNA(+) (08/01)	陽性(輸血後)	1本NAT(-) 1本NAT(+)		片割れ製剤受血者の情報:陽性となった当該輸血用血液と同一採血番号の製剤として、1本の新鮮凍結血漿、1本の原料血漿があり、全て確保済み。	4単位	0/2	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	-
陽転事例																		
3-05252	2005/12/12	2005/12/22	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	男	60	悪性リンパ腫	B型肝炎	04/10-12 04/11- 05/02 04/11	HBsAg(-) (03/10)	HBsAg(+) (05/11)	陽性(輸血後)	NAT(-)			75単位 35単位 2単位	8/9	9本の原料血漿を製造。1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み
3-05253	2005/12/13	2005/12/27	人赤血球濃厚液 白血球除去人赤血球浮遊液	男	70	慢性腎不全	B型肝炎	00/04- 05/05 00/04	HBsAg(-) (00/03)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBeAb(-) (05/11)	陽性(輸血後)	NAT(-)			18単位 4単位	8/11	8本の原料血漿を製造。12本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は7本確保済み。新鮮凍結血漿3本は確保済み。医療機関へ供給済みの新鮮凍結血漿9本中2本は未使用で回収済み。	原料血漿1本使用済み。新鮮凍結血漿9本は医療機関へ供給済み。
3-05254	2005/12/15	2005/12/27	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	関節リウマチ	B型肝炎	04/06	HBsAg(-) (04/06)	HBsAg(+) (05/12)	陽性(輸血後)	NAT(-)			4単位	0/2	2本の原料血漿を製造。2本の新鮮凍結血漿を製造。新鮮凍結血漿1本は廃棄済み。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿1本は医療機関へ供給済み。
3-05258	2005/12/20	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	脳内出血後左半身麻痺	B型肝炎	04/12	HBsAg(-) HBeAb(+) (03/09) HBV-DNA(-) (04/12)	HBsAg(-) HBeAb(+) HBV-DNA(+) (05/09)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			4単位	0/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。

3-05259	2005/12/21	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	80	急性リンパ性白血病	B型肝炎	05/08	HBsAg(-) (05/08)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/12)	陽性(輸血開始後11日) 陽性(輸血後)	NAT(-)			6単位 80単位	5/11	11本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み	-
3-06002	2006/1/10	2006/1/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	悪性リンパ腫	B型肝炎	01/06	HBsAg(-) (00/12)	HBsAg(-) (02/12) HBsAg(+) HBeAg(+) (05/03、院内保存検体にて) HBsAg(+) HBeAg(+) HBcAb(+) (05/12)	陽性(輸血後)	NAT(-)			2単位	0/1	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
3-06005	2006/1/19	2006/2/2	新鮮凍結血漿 人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液	男	30	アルコール性肝硬変	B型肝炎	05/03 05/02-06 05/02-06	HBsAg(-) HBsAb(-) (05/02)	HBsAg(-) (05/06) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) (05/09) HBsAg(+) HBsAb(-) (06/01) HBeAg(+) HBeAb(-) IgM-HBcAb(-) HBcAb(+) (06/01)	陽性(輸血後)	NAT(-) (適及調査) NAT(-)			17単位(適及調査対象2単位含む) 165単位 30単位	適及対象以外の供血症者について 21/28	1本の原料血漿、1本の赤血球MAPを製造。原料血漿は確保済み。	赤血球MAPは医療機関に供給済み。(投与された患者は原疾患にて死亡)
3-06013	2006/2/1	2006/2/15	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	硬膜下血腫	B型肝炎	05/10	HBsAg(-) (05/03)	HBsAg(+) (06/01)	陽性(輸血後)	NAT(-)			6単位	0/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	-
3-06017	2006/2/10	2006/2/24	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	悪性リンパ腫	B型肝炎	05/04-11 05/04-08	HBsAg(-) (05/01)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(-) IgM-HBcAb(-) HBeAg(+) HBeAb(-) HBV-DNA(+) (06/01)	陽性(輸血後)	NAT(-)			36単位 135単位	16/34	33本の原料血漿、7本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は32本は確保済み。新鮮凍結血漿は4本確保済み。	原料血漿は1本使用済み。新鮮凍結血漿は3本医療機関へ供給済み。
3-06018	2006/2/14	2008/2/24	人血小板濃厚液(放射線照射) 洗浄人赤血球浮遊液	男	50	多発性骨髄腫	B型肝炎	03/04-05 03/04	HBsAg(-) (03/03)	HBsAg(+) HBsAb(-) IgM-HBcAb(-) HBeAg(+) HBeAb(-) HBV-DNA(+) (05/12)	陽性(輸血後)	NAT(-)	アルブミン (03/04)、 ベニロンI (03/06)		80単位 4単位	8/10	10本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
3-06019	2006/2/14	2006/2/24	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	大腿骨骨折	B型肝炎	05/08	HBsAg(-) HBsAb(-) HBV-DNA(-) (05/08)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBV-DNA(+) (05/12)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			6単位	3/3(1人はHBsAb(+))	4本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	-
3-06026	2006/2/17	2006/3/3	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	70	くも膜下出血	B型肝炎	05/11-12 05/11	HBsAg(-) (05/11)	HBsAg(-) (05/11) HBsAg(+) (05/12) HBsAg(+) (06/01)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			34単位 21単位	3/26	23本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿、8本の赤血球MAPを製造。原料血漿は18本確保済み。	原料血漿は5本使用済み。新鮮凍結血漿、赤血球MAPは医療機関へ供給済み。

3-06029	2006/2/22	2006/3/6	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	急性リンパ性白血病	B型肝炎	05/01-06/01 05/03-06/01	HBsAg(-) (04/12)	HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (06/01)	陽性(輸血後)	NAT(-)	120+110単位 2+8単位	15/28(1人はHBs抗体陽性)	27本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は14本確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	原料血漿は13本使用済み	
3-06031	2006/3/3	2006/3/15	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	狭心症	B型肝炎	05/10	HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) IgM-HBcAb(-) HBV-DNA(-) HCV-RNA(+) (05/10)	HBV-DNA(+) (06/01) HCV-RNA(+) (06/01)	HBV関連検査予定	保管検体3本についてHBV-NAT関連検査予定	6単位	0/3	調査中	-	
3-06036	2006/3/17	2006/3/29	人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	女	30	急性リンパ性白血病	B型肝炎	05/02-04 05/04	-	HBsAg(-) (05/03) HBsAg(+) (06/03)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	30単位 2単位	2/4	4本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は医療機関に供給済み	
3-06041	2006/4/7	2006/4/20	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	40	血液腫瘍	B型肝炎	05/04-05/05 05/04-05/05 05/03-05/04 05/04-05/05	HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAg(-) HCV-Ab(+) (05/02) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/04)	HBV-DNA(-) (05/04) HBV-DNA(-) (05/05) HBV-DNA(+) (05/06) HBV-DNA(+) (05/09) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (06/04)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	患者劇症化例 骨髓バンクからの同種骨髓移植を施行。ドナーはHBsAg(-)、HBsAb(-)、HBcAb(-)。	80単位 50単位 12単位 6単位	16/22	23本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は7本確保済み。	原料血漿は16本使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関に供給済み。
3-06046	2006/4/13	2006/4/26	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	30	出血	B型肝炎	06/02	HBsAg(-) (05/08)	HBV-DNA(+) (06/03) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) IgM-HBcAb(-) (06/03)	輸血前後検体確保 HBV関連検査実施予定	保管検体3本についてHBV-NAT検査予定	5単位	0/3	3本の原料血漿を製造。使用の有無を確認中。		
3-06049	2006/4/19	2006/5/2	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	虫垂腫瘍、悪性リンパ腫	B型肝炎	2003/08-09 2004/12-2005/03	HBsAg(-) (02/10) HBsAg(-) (03/04)	HBsAg(+) (06/04)	輸血後検体確保 HBV関連検査実施予定	保管検体8本についてHBV-NAT実施予定	40単位 10単位 3単位 1単位	6/8	調査中		
3-06050	2006/4/21	2006/5/2	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	腎癌、IVC内腫瘍塞栓症	B型肝炎	2006/03	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAb(-) (06/02)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBsAb(+) HBV-DNA(-) (06/04)	輸血前後検体確保 HBV関連検査実施予定	保管検体3本についてHBV-NAT実施予定	4単位 2単位	0/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は使用の有無を確認中、新鮮凍結血漿は確保済み。		
3-08051	2006/4/21	2006/5/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	40	慢性骨髄性白血病	B型肝炎	2005/12	HBsAg(-) HBsAb(-) HBV-DNA(-) (05/12)	HBV-DNA(+) (06/04) HBsAg(+) HBsAb(-) (06/04)	輸血前後検体確保 HBV関連検査実施予定	保管検体4本についてHBV-NAT実施予定	6単位	0/4	4本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は使用の有無を調査中。新鮮凍結血漿は確保済み。		
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																	
3-05257	2005/12/16	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	消化器腫瘍	B型肝炎	05/07	HBsAg(-) (05/07)	HBsAg(-) (05/11) HBsAg(+) HBsAb(-) (05/12)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	NAT(-)	死亡(12/24原疾患による)	2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	-

3-05262	2005/12/28	2006/1/10	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結血漿	男	30	外傷	B型肝炎	05/06-07 05/06 05/06	-	HBsAg(-) (05/06輸血開始 2日後) HBsAg(+) (05/12)	陰性(輸血後)	NAT(-)			64+56単位 20+40単位 40+126単 位	60/131(57 人は陰性。 2人HBs- Ab(+),1人 HBc-Ab(+) かつHBs- Ab(+))	106本の原料血漿、38本の新鮮凍結血漿、44本の赤血球MAPを製造。原料血漿は66本確保済み。新鮮凍結血漿は33本確保済み。医療機関への供給済みの5本のうち1本は未使用であり、回収済み。	原料血漿は40本使用済み。新鮮凍結血漿は5本医療機関へ供給済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
3-06038	2006/3/23	2006/4/6	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	05/08- 06/01 05/09-12 05/12	HBsAg(-) (05/07)	HBsAg(-) (05/11) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(+) HBV-DNA(+) (06/03)	陽性(輸血後)	NAT(-)			210単位 12単位 1単位	16/29	29本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	-
陽転未確認事例																		
3-05255	2005/12/15	2005/12/27	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 新鮮凍結血漿	女	60	血液腫瘍	B型肝炎	01/07- 02/05 01/07- 02/05 01/07	-	HBsAg(-) (01/07) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAb(-) HBV-DNA(+) (05/11)	陰性(輸血後) 陽性(輸血後)	NAT(-)	ブミネート ノイアト アンスロピン ヴェノグロブリン -H		250単位 30単位 8単位	37/42	42本の原料血漿を製造、5本の新鮮凍結血漿、2本の赤血球MAP、1本の洗浄赤血球、1本の白血球除去赤血球を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿、赤血球MAP、洗浄赤血球、白血球除去赤血球は医療機関へ供給済み。
3-05260	2005/12/22	2006/1/5	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	05/01-05 05/01-06	-	HBsAg(-) (05/07) HBsAg(+) (05/12)	陽性(輸血後)	NAT(-)			42単位 265単位	36/61	61本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は29本確保済み。新鮮凍結血漿は1本廃棄済み。医療機関への供給済みの4本のうち1本は未使用であり、回収済み。	原料血漿は32本使用済み。新鮮凍結血漿は4本医療機関へ供給済み。
3-06035	2006/3/14	2006/3/24	人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿	女	<10	超低出生体重児	B型肝炎	05/10-11 05/10	-	HBsAg(-) HBsAb(-) HBV-DNA(+)	判定不能(輸血後、検体量不足)	NAT(-)			3単位 1単位	2/4	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿、1本の赤血球MAPを製造。原料血漿は全て確保済み。	新鮮凍結血漿、赤血球MAPは医療機関へ供給済み。
3-06044	2006/4/12	2006/4/24	新鮮凍結血漿 人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	80	循環器疾患、脳循環疾患	B型肝炎	06/02 06/02 06/02- 06/03 06/02- 06/03	HBsAg(-) (06/01)	HBsAg(-) HBsAb(+) (06/04) HBeAg(+) HBeAb(+) HBcAb(+) (06/04)	輸血後検体確保 HBV関連検査 実施予定	保管検体33 本について HBV-NAT検査 予定			24単位 20単位 6単位 32単位	6/33	調査中	

輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)																			
日赤番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	
陽転事例																			
3-05256	2005/12/16	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	C型肝炎	05/09	HCV-Ab(-) (05/08, 09) HCV-Ab(-) HCVコアAg(-) (05/09)	HCV-Ab(+) (05/11) HCV-RNA(+) (05/12)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			4単位	0/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。		
3-06001	2006/1/5	2006/1/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	消化器疾患	C型肝炎	05/10	HCV-RNA(-) (05/10)	HCV-Ab(-) HCV-RNA(-) (05/10) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/12)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			8単位	0/4	4本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。		
3-06003	2006/1/13	2006/1/26	人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結血漿	男	70	狭心症	C型肝炎	05/10 05/10 05/10 05/10	HCV-Ab(-) (05/08)	HCV-Ab(-) HCV-RNA(+) (05/12) HCV-Ab(+) (06/01)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			40単位 40単位 42単位 4単位 56単位	19/59	80本の原料血漿、9本の新鮮凍結血漿、28本の赤血球MAPを製造。原料血漿は32本確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	原料血漿は28本使用済み。赤血球MAPは医療機関へ供給済み。	
3-06016	2006/2/10	2006/2/24	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	右足壊疽	C型肝炎	05/12	HCV-Ab(-) (05/11)	HCV-Ab(+) (06/02)	陽性(輸血後)	NAT(-)			2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。		
3-06021	2006/2/14	2006/2/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	胃癌	C型肝炎	05/11	HCV-Ab(-) HCVコアAg(-) (05/11)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (06/02)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			4単位	0/4	4本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。		
3-06022	2006/2/15	2006/3/1	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結血漿	男	70	骨髄異形成症候群	C型肝炎	05/08-08/01 05/09-08/01 05/09-12	HCV-Ab(-) (05/08)	HCVコアAg(+) (06/01) HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (06/02)	陽性(輸血後)	NAT(-)	アンチトロンビンIII他の使用	死亡(2/19急性循環不全)	470単位 42単位 45単位	37/81	70本の原料血漿、14本の新鮮凍結血漿、6本の赤血球MAPを製造。原料血漿1本は廃棄済み。66本は確保済み。新鮮凍結血漿は11本確保済み。	原料血漿は3本使用済み。新鮮凍結血漿は3本医療機関へ供給済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。	
3-06025	2006/2/16	2006/3/1	人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿	男	60	大動脈瘤	C型肝炎	06/01 06/01	HCV-Ab(-) (05/12)	HCV-Ab(+) (06/02)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	アルブミン 献血ケイ/クロリ ジH		8単位 6単位	0/7	7本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿、3本の赤血球MAPを製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は確保済み。赤血球MAPは1本廃棄済み。	赤血球MAPは2本医療機関へ供給済み。	
3-06030	2006/3/2	2006/3/15	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	食道癌	C型肝炎	04/09	HCV-Ab(-) (04/06)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (06/01)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			4単位	2/2	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。	
3-06037	2006/3/23	2006/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	90	消化器疾患	C型肝炎	05/07	HCVコアAg(-) HCV-Ab(-) (05/07)	HCVコアAg(+) HCV-Ab(+) (06/03)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体1本 HCV-NAT(-)		2単位	0/1	1本の原料血漿を製造し、確保済み。	死亡(06/04 原疾患の進行による肝不全との主治医の意見)		
3-06039	2006/3/29	2006/4/11	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	消化器疾患	C型肝炎	05/11	HCV-Ab(-) (05/10)	HCV-Ab(+) (06/02) HCVコアAg(-) HCV-RNA(+) (06/03)	陽性(輸血後)	保管検体2本 HCV-NAT(-)		4単位	1/2	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は確保済み。			

3-06042	2006/4/10	2006/4/20	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	脳循環、循環器疾患	C型肝炎	05/11	HCV-Ab(-) (05/11)	HCV-RNA(+) (08/03)	輸血後検体確保予定	保管検体2本について HCV-NAT関連検査予定			4単位	0/2	2本の原料血漿を製造。使用の有無を確認中。	
3-06045	2006/4/13	2006/4/26	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	骨折	C型肝炎	06/01	HCV-Ab(-) (06/01)	HCV-Ab(+) (06/03)	輸血後検体確保予定	保管検体1本について HCV-NAT関連検査予定			2単位	調査中	調査中	
3-06053	2006/4/27		人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	80	消化器腫瘍	C型肝炎	06/02	HCV-Ab(-) (06/01)	HCVコアAg(+) (06/04)	輸血後検体確保 HCV関連検査実施予定	保管検体3本について HCV-NAT関連検査予定			4単位	0/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。新鮮凍結血漿は確保済み。	
陽転未確認事例																		
3-06012	2006/2/1	2006/2/15	人赤血球濃厚液	女	<1	超低出生体重児	C型肝炎	05/09-10	-	HCVコアAg(+) (06/01)	陰性(輸血後) 母子ともに	NAT(-)	ヘリコ(HCV-NATは(-))	母親HCV-Ab(-) (05/09入院時)	3単位	0/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	

HIV感染報告例(疑い例を含む。)																		
日赤番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
3-06043	2006/4/10	2006/4/24	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	40	消化器疾患、CMV感染	HIV感染	05/12 05/12-06/03	-	HIV-Ab(-) (05/12) HIV-Ag(+) HIV-Ab(+) HIV-RNA(+) (06/03)	陽性(輸血後)	保管検体62本について HIV-NAT(-)		感染既往の疑いありとして輸血との関連なしとの主治医の見解	120単位 18単位	30/62 (HIV関連検査陰性)	39本の原料血漿、19本の新鮮凍結血漿、45本の赤血球MAP製造。原料血漿10本は確保済み、新鮮凍結血漿は3本確保済み	原料血漿:28本使用。 新鮮凍結血漿:16本医療機関へ供給。 赤血球MAP:全て医療機関へ供給。
輸血による其他ウイルス感染報告例(疑い例を含む。)																		
日赤番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
供血者陽性事例																		
3-06006	2006/1/19	2006/2/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	狭心症	E型肝炎	05/12	HEV-RNA(-) IgM-HEVAb(-) IgG-HEVAb(-) (05/12)	HEV-RNA(+) IgM-HEVAb(-) IgG-HEVAb(-) ウイルス定量 100copies/ml未満 (06/01) IgM-HEVAb(+) IgG-HEVAb(+) (06/02) HEV-RNA(-) (06/02末) IgM-HEVAb(-) (06/04)	患者検体と HEV-RNA陽性 献血者検体との HEV塩基配列の 同一性について調査したところ、 ORF1 326塩基とORF2 412塩基の2領域について全て一致。	保管検体1本について HEV-RNA(+)		患者検体・献血者検体とも genotype III	2単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	-
陽転未確認事例																		
3-06027	2006/2/20	2006/3/3	人赤血球濃厚液(併用薬) 新鮮凍結人血漿	男	3M	硬膜下血腫	A型肝炎	06/01	-	HA-Ab(+) (06/01) HA-Ab(+) IgM-HA-Ab(-) (06/02)	陰性(輸血後)	NAT(-)		問診表では特に問題なし「この1ヶ月にリンゴ病、A型肝炎はなし」と。	1単位 2単位	-	1本の原料血漿、1本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は1本使用済み 赤血球MAPは医療機関へ供給済み。
3-06054	2006/4/28		人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	50	血液疾患	E型肝炎	05/05-09	-	IgM-HEV-Ab(+) IgG-HEV-Ab(+)	調査中	保管検体34本について HEV-RNA(-)			150単位 70単位 5単位 13単位	-	34本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	新鮮凍結血漿は供給済み。

輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)																		
日赤番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後細菌検査(年月)	受血者検査	保管検体検査	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
3-06008	2006/1/25	2006/2/7	人赤血球濃厚液 被疑薬:採血後14日目	男	80	骨髄異形成症候群	細菌感染	06/01	-	患者血培(-) 。院内の検査で 投与中止の当該 製剤でYersinia enterocolitica(O: 9)同定。 (参考)当該製剤 のエンドトキシン濃度 (いずれも採血後 19日目) >2000pg/ml(検 査センター) 250000pg/ml(日 赤)	抗血漿タンパ ク質抗体検査: 抗セルロフラ ズミン抗体弱陽 性(35.8mg/dl) 血漿タンパク 質欠損検査: 欠損なし	同一採血番 号の血漿で 無菌試験 結果(適合)		(献血者の追跡調査)20代男 性。初回献血者。献血22日前 に鶏物、刺身を摂食後、翌日 より発熱。医療機関へは受診 なし。	2単位	-	1本の原料血漿 を製造。原料血 漿は確保済み。	-
3-06033	2006/3/6	2006/3/20	人血小板濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後3日目	女	60	血液腫瘍	細菌感染	06/03	-	投与中止の当該 製剤でセラテア 属同定。院内血 培(-)	-	同一採血番 号の血漿(1 本)で無菌試 験結果(適)		被疑薬(濃厚血小板)のセグメ ントチューブでエンドトキシン 検査実施結果、基準値以下	10単位	-	1本の原料血漿 を製造。原料血 漿は確保済み。	-
3-05264	2006/1/4	2006/1/11	人血小板濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後3日目	男	70	再生不良性貧血	エンドトキシンショック	05/12		投与中止の当該 製剤で無菌試験 (適合)	抗血漿タンパ ク質抗体検査: 陰性 血漿タンパク 質欠損検査: 欠損なし	同一採血番 号の血漿で 無菌試験(適 合)			20単位	-	2本の原料血漿 を製造。原料血 漿は全て確保済 み。	-
3-06004	2006/1/13	2006/1/26	人赤血球濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後11日目	男	50	急性肺炎	細菌感染	06/01	-	Enterobacter cloacae検出(院 内06/01採血培 養)	抗血漿タンパ ク質抗体検査: 陰性 血漿タンパク 質欠損検査: 欠損なし	同一採血番 号の血漿で 無菌試験(適 合)		腸内細菌によるかもしれない と病院検査担当者コメント	2単位	-	1本の原料血漿、 1本の新鮮凍結 血漿を製造。原 料血漿、新鮮凍 結血漿は確保済 み。	-
3-06009	2006/1/26	2006/2/8	人赤血球濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血13日目	女	80	多発性骨髄腫	細菌感染	06/01	-	-	患者の血培な し	同一採血番 号の血漿で 無菌試験(適 合)		(担当医コメント) 死亡(1/17原疾患による)輸 血との関連なしコメント	2単位	-	1本の原料血漿 を製造。原料血 漿は確保済み。	-
3-08015	2006/2/1	2006/2/15	人赤血球濃厚液 被疑薬:採血後10日目,13日目	女	70	連合弁膜症	ブドウ球菌感染	06/01	喀痰より MRSA/Entero bacter(+)	MRSA	-	同一採血番 号の血漿で 無菌試験(適 合)		輸血前からMRSA/グラム陰性 菌(+) (喀痰)であった 死亡(2/1DIC) 肺炎からの敗血症と思われ輸 血との因果関係なしとのコメント	4単位	-	3本の原料血漿 を製造。原料血 漿は全て確保済 み。	-
3-06023	2006/2/15	2006/3/1	人赤血球濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後10日目,13日目	男	30	クローン病	細菌感染	06/02	-	院内血培(-)	抗血漿タンパ ク質抗体検査: 陰性 血漿タンパク 質欠損検査: 欠損なし	同一採血番 号の血漿(2 本)で無菌試 験(適合)		担当医より「細菌感染症では なかったのでは?血液製剤と の急性抗原抗体反応があった のでは?」とのコメントあり。	4単位	-	2本の原料血漿 を製造。原料血 漿は全て確保済 み。	-
3-06024	2006/2/15	2006/3/1	人赤血球濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後11日目,15日目	女	70	出血性食道潰瘍	細菌感染	06/01	-	院内血培(+) MRSA	-	同一採血番 号の血漿(2 本)で無菌試 験(適合)			4単位	-	2本の原料血漿 を製造。原料血 漿は全て確保済 み。	-
3-06034	2006/3/10	2006/3/24	人血小板濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後3日目 人赤血球濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後10日目	女	10	再生不良性貧血	細菌感染	06/03	-	院内血培(+) Klebsiella pneumoniae	-	同一採血番 号の血漿(2 本)で無菌試 験(適合)			10単位 2単位	-	2本の原料血漿 を製造。原料血 漿は確保済み	-
3-06040	2006/4/5	2006/4/20	人赤血球濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後13日目	女	70	生殖器腫瘍	細菌感染	06/04	-	院内血培(-) 投与中止の当該 製剤にて無菌試 験実施予定	非溶血性副作 用関連検査実 施予定	投与中止の 当該製剤で 無菌試験実 施予定			2単位	-	1本の原料血漿 を製造。使用の 有無を確認中。	-

3-06047	2006/4/14	2006/4/26	人赤血球濃厚液 被疑薬:採血後9~13日目 人血小板濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後3~4日目	女	60	悪性リンパ腫	細菌感染	06/03- 06/04	検体なし	院内血培にて Bacillus cereusを 同定	-	同一採血番 号の血漿7本 で無菌試験 実施予定			10単位 20単位	-	8本の原料血漿、 1本の新鮮凍結 血漿を製造。原 料血漿は使用の 有無を調査中。 新鮮凍結血漿は 確保済み。
3-06048	2006/4/19		人赤血球濃厚液 被疑薬:採血後15日目	女	60	急性大動脈乖離	細菌感染	2006/04	-	-	非溶血性副作 用関連検査実 施予定	同一採血番 号の血漿で 無菌試験実 施予定			2単位	-	1本の原料血漿、 1本の新鮮凍結 血漿を製造。原 料血漿は使用の 有無を確認中。 新鮮凍結血漿は 確保済み。
3-06052	2006/4/24		人血小板濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後3日目 人赤血球濃厚液(放射線照射) 被疑薬:採血後6日目	女	70	急性骨髄性白血病	細菌感染	2006/04	-	院内血培実施中	非溶血性副作 用関連検査実 施予定	照射血小板 製剤の同一 採血番号の 血漿残りな し。照射赤血 球MAPの同 一採血番号 の血漿で無 菌試験実 施予定			10単位 2単位	-	2本の原料血漿、 1本の新鮮凍結 血漿を製造。原 料血漿は1本確 保済み。新鮮凍 結血漿は確保済 み。